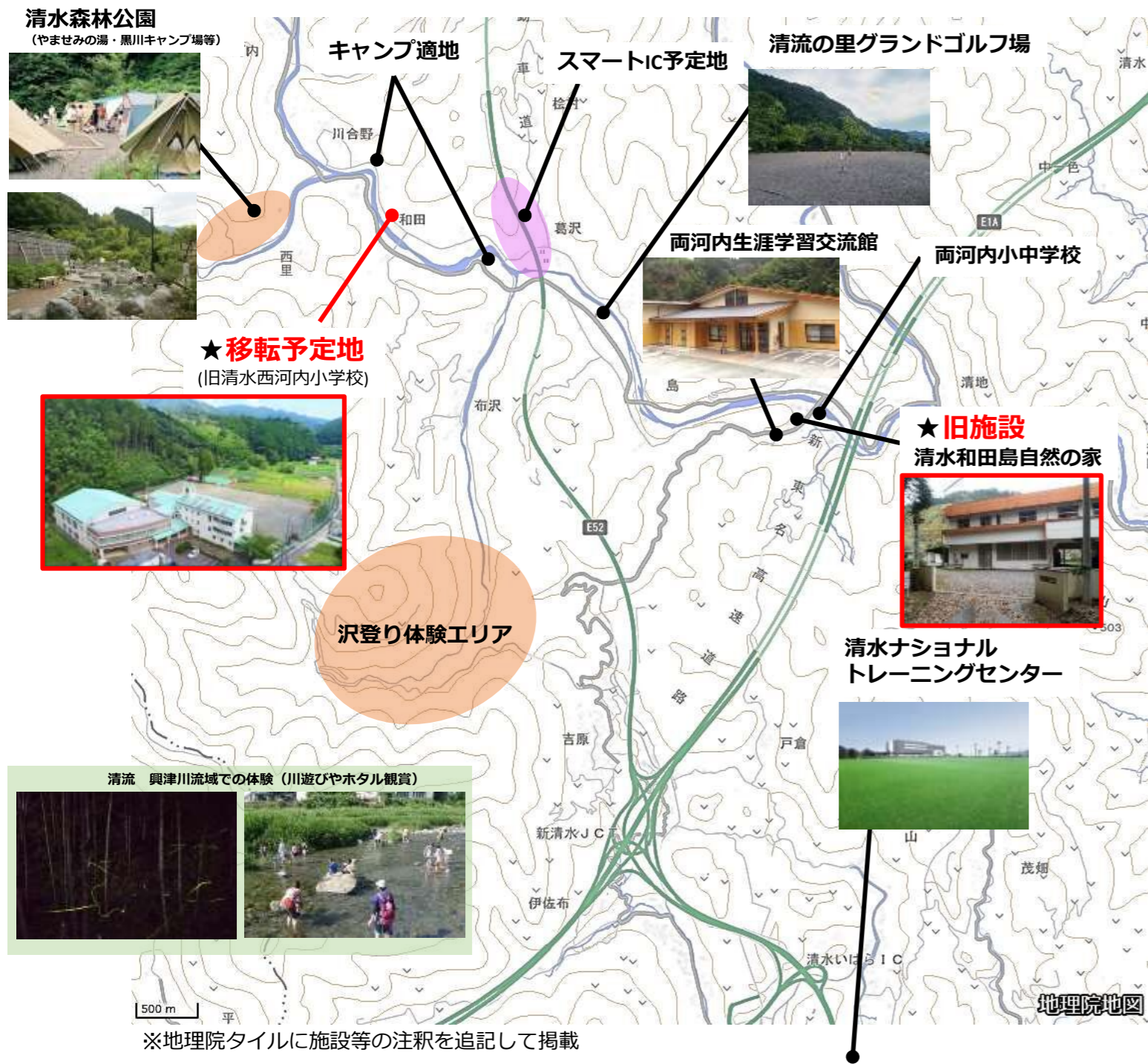


移転予定地周辺地図



暫定事業スケジュール

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
校舎改修		設計	工事	令和7年4月 供用開始予定
土砂対策	詳細設計	工事		
旧自然の家解体	解体事前調査 解体設計	解体工事 用地返却		

新自然の家移転整備基本計画(案)へ あなたのご意見をお寄せください

募集期間：令和4年8月19日(金)～令和4年9月18日(日)まで

※郵便の場合、消印有効



資料の閲覧場所

基本計画(案)の本編と概要版は以下の場所で閲覧できます。

- (1) 静岡市役所 教育総務課 (静岡市役所 清水庁舎 8階)
- (2) 静岡市南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家
- (3) 各区役所の市政情報コーナー
(葵区/静岡庁舎 1階、駿河区/駿河区役所 3階、清水区/清水庁舎 4階)
- (4) 静岡市ホームページ：https://www.city.shizuoka.lg.jp/052_000171.html

ご意見の提出方法

- (1) 郵 送：〒424-8701 静岡市清水区旭町 6番 8号 教育総務課あて
- (2) ファックス：054-354-2472
- (3) 持 参：教育総務課 (清水庁舎 8階)
- (4) 電子申請：電子申請フォームからご提出ください。
(<https://logoform.jp/form/79j2/61110>)



お問い合わせ先

静岡市 教育委員会事務局 教育局 教育総務課 社会教育係
電話：054-354-2369 ファックス：054-354-2472
メール：kyoikusomu@city.shizuoka.lg.jp

旧清水和田島自然の家は、昭和50年の開設から、40年以上市民の皆さんに親しまれてきましたが、耐震性能の不足等により、平成31年4月から休館しています。
清水両河内地区の学校統合に伴う学校跡地（旧清水西河内小学校）を活用し、学校の雰囲気を残しつつ改修工事を行い、自然の家の再整備を計画しています。

施設概要と施設計画について

施設の設置目的

静岡市の自然の家は、社会教育施設（青少年教育施設）として、青少年や市民を自然に親しませ、自然環境の中での集団訓練や、野外活動、自然探求等を通じて、豊かな情操を培い、心身ともに健全な育成を図ることを目的として設置されています。

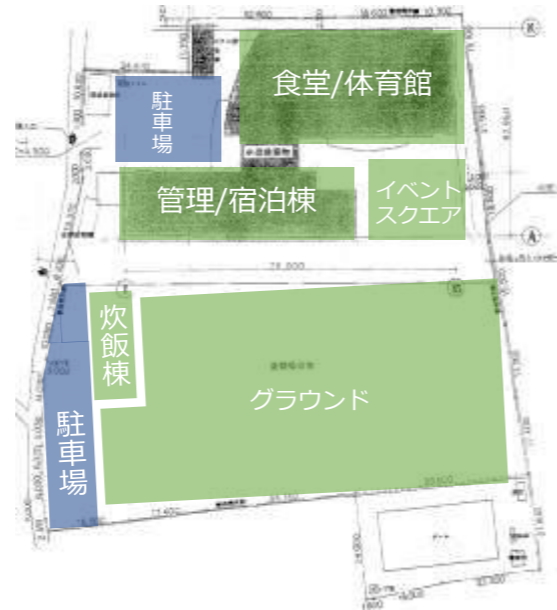
施設活用の考え方

静岡市の自然の家は、上記の設置目的に基づき、年齢や団体・個人の別に関わらず、どなたでも利用することのできる施設です。これまで、主に学校や青少年団体に利用されてきましたが、閑散期の施設利活用や、少子化による青少年利用の減少などの課題があります。移転整備により利用者層の拡大等、年間を通じた活用に向けて取り組みます。

（活用の例）

- ▶ 学校利用：スマートICの整備に伴うアクセス向上による、市内全域及び近隣市町村からの利用受入
- ▶ 団体利用：体育館、グラウンド等を活用したスポーツ団体、文化系団体への体験活動を含む合宿利用の提案
- ▶ 企業利用：企業と連携した体験事業や教育事業の実施
- ▶ 団体利用：地域や旅行事業者等と連携した地域周遊型企画やグリーンツーリズム企画の実施 など

- 宿泊定員：150名程度
- 敷地面積：10,230㎡程度
- 延床面積：3,665㎡程度



新しい自然の家が目指す姿

新しい自然の家では、社会教育施設として豊かな自然環境や自然体験、文化交流体験を通じた「たくましくしなやかな子どもたち」の育成を支援するという役割と、地域の体験や交流の拠点施設として青少年に限らず全ての世代に体験や学習の機会を提供するとともに、地域・利用者・来訪者の交流を生み出し「地域の賑わい」を創出するという役割を実現する施設となるため、以下のとおり目指す姿を設定します。

たくましくしなやかな子どもたちの教育を支援するとともに
豊かな自然環境や地域の個性を活かし両河内の賑わいを創出する

たくましくしなやかな子どもたちの育成

自然環境



育成する力や姿勢
豊かな心・感性を育む
豊かな自然で五感を磨く

自然体験



粘り強く立ち向かう姿勢を持つ
チャレンジ精神を持って取り組む

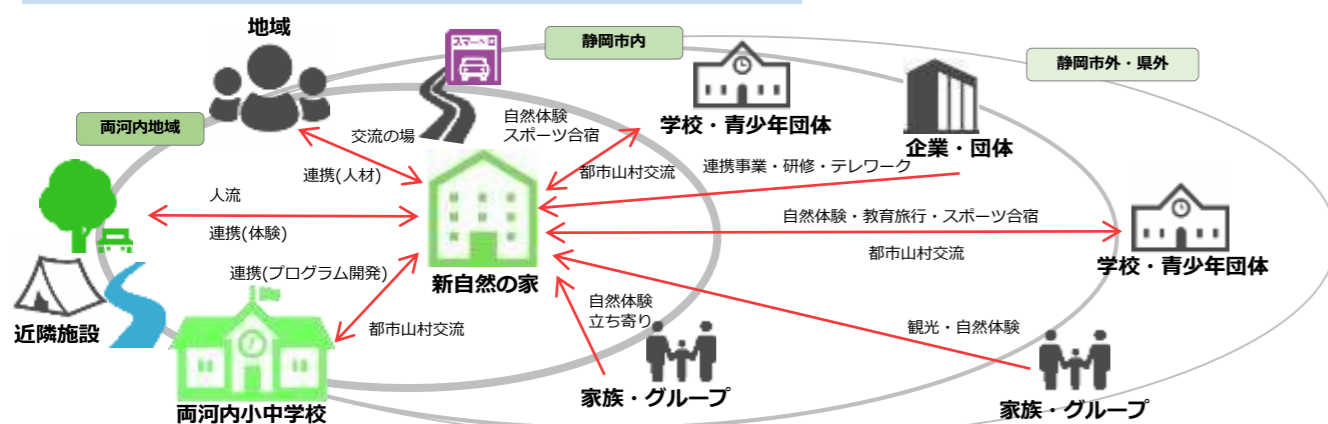
文化交流体験



文化を学びローカルの魅力を知る
交流を通して多様な価値観、視点を知る

両河内地域の賑わい創出

※利活用や連携のイメージ



体験活動や施設利用について

こんな体験や利用ができるようになります！

和田島自然の家の体験の目玉「沢登り体験」に加え、様々な体験プログラムを提供します



和田島自然の家の体験の目玉「沢登り」



両河内地域伝統の「炭焼き体験」や近隣施設との連携による自然体験や農業体験

新たな活用の方法を提案し、利用者層の拡大に取り組みます



体育館・グラウンドを使った合宿利用や各種大会の開催も計画します



企業と連携した環境教育・食育活動などの実施や、体験活動を通じたチームビルディング研修などの提案を行います



地域周遊型企画やグリーンツーリズム企画の実施により、地域人材や近隣施設と連携した体験を提供することで、個人やグループでの利用促進を図ります

施設整備について

※整備機能のイメージであり、整備内容を示すものではありません

こんな施設に変わります！

これまでの主な利用は団体宿泊でしたが、家族やグループでも利用しやすい施設整備を計画します



これまでは団体に対応する大部屋のみ



教室を改修した大部屋に加え、少人数でも利用可能な宿泊室等、複数タイプの宿泊室を計画

開かれた自然の家の実現のため、立ち寄りでも利用可能な機能の整備を計画します



カフェ機能やイベント会場機能など、地域の方や観光等で訪れた方が立ち寄ることが出来る機能を整備することで、交流の場、情報発信の場、イベント実施の場としての活用を計画します